



市内のなかまたち 小学校1年生 4,176人 2年生 4,180人 3年生 4,436人 4年生 4,602人 5年生 4,560人 6年生 4,738人 (平成23年5月1日現在)



3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災は、国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録する地震とともに、20mから30mともいわれる津波を起こし、東北地方の太平洋側沿岸部を飲み込みました。大阪府は、東北地方から約800km離れていますが、大きな揺れを感じた子どもたちも多かったと思います。この機会に、自分たちの住んでいるまちでこのような大きな災害が発生したとき、どのように行動すればいいかを考えてみましょう。

## 被災地は今 みんなで応援しよう!!

私は、5月に被災地の東北地方へ行き、現地の状況を見てきました。現地は、海にあるはずの船が地上に乗り上げ、また津波によってすべてを流されてしまったまちが広がっていました。

被災地では、日本全国から多くのボランティアが集まり、地震や津波に襲われたまちを震災前のように戻そうと活動しています。

小学生のみなさんもういろいろな方法で被災地を応援してくださいね。



東大阪社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター所長 坂東建哉さん

元気を送ろう!  
東大阪から被災地へ

東日本大震災は、死者1万5000人、現在も行方不明者が5000人を超えているという大きな被害を出しました。また、たくさんの家や工場などの建物も津波で流されてしまいました。現在も、生活をするために必要な水道、電気、ガスなどが通っていない地域も多く、家に帰ることができずに、学校の体育館や公民館などで避難生活を送る方が約9万人もいます。

このような状況に東大阪の市や市民も東北地方へたくさんの支援を行っています。市民ボランティアが東北地方へ行って、津波で泥だらけになってしまった家の掃除をしたり、水道が止まっている地域に市役所の職員が行って、給水ポンプ車で水を配ったりしました。また、子どもたちのために市役所の職員とトライくんが絵本など約5000冊を届けました。これからも、東北地方が元気になるようにたくさん支援をしていきます。



6月10日、北宮小学校で地震の発生を想定した避難訓練が行われました。地震は、2時間目が始まる前、午前9時50分に発生したと想定。

# 地震だ！ 自分の身は自分で守ろう

北宮小学校で避難訓練

地震発生があると児童たちは、先生の指示に従って、すぐに机の下へ潜り、写真上、地震の揺れが収まってから危険なものが頭にあたらないように頭を教科書を載せて（写真下）、運動場に避難しました。

校長先生は「学校から運動場に避難しているときに上級生が下級生に先に避難するよう、通路をゆずる児童がいてうれしかった」と話していました。



1 晴仁くんは、お父さんと家具の上に突っ張り棒を取り付け、転倒を防止しました



2 佑志朗くんは、お母さんとガラス扉にフィルムを貼って飛散を防止しました



3 佑志朗くんは、テレビの下に粘着性マットを貼りテレビを固定しました



4 家族で家の周りに危険なところがないか確認しました



## 我が家の防災チェック 家族防災会議が 命を救う

### 話し合いのテーマ(例)

- 家具などの転倒防止対策
- 避難場所の確認
- 地震が起きたときの役割
- 避難経路の安全確認
- 家族との連絡方法
- 非常持ち出し袋のチェック

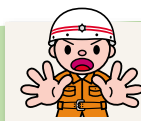
背の高い家具は、背の高い家具などは、地震で倒れてくると大変危険です。突っ張り棒やプラスチック止め具、L型金具などで固定しましょう。

食器棚のガラスは、食器棚などの扉にガラスが使われているものは、ガラスの飛散によるケガも考えられます。

食器棚のガラスは、食器棚などの扉にガラスが使われているものは、ガラスの飛散によるケガも考えられます。

背の高い家具は、背の高い家具は、地震で倒れてくると大変危険です。突っ張り棒やプラスチック止め具、L型金具などで固定しましょう。

家にいるときに災害が起こった何をするべきか、いのか、慌てないためにも「話し合いのテーマ(例)」を参考にみんなも家族防災会議を開いてみよう。



## 慌てない、騒がない

市役所危機管理室・西村有平さん

地震などの災害は、いつ起こるか分かりません。そのため、いつ災害が起こっても、慌てないように事前に準備をしておきましょう。学校での避難訓練も大切な準備のひとつです。また家族みんなで地震などの災害について、話をするのも大切なことです。災害から、自分や家族の身を守るために、まずは身近にできる防災対策から始めてください。



## 震度と揺れ方



0 1 2 3 4 5弱 5強 6弱 6強 7

## 震度7を体験 防災学習センターに行こう！



市の消防局には、地震や台風、火災などの災害が起こったときの準備や心構えを勉強することができる「防災学習センター」があります。ここでは、地震が起こったときにどのような行動をとるべきかを実際に行動しながら学習する「二次災害防止体験コーナー」や地震の揺れを体験することができる「地震体験コーナー」があります。災害が起こっても慌てずに済むように、ぜひ一度体験してみてください。

とがないうちに、防災学習センターで学んでおこう。  
◇開催日・時間 火曜日 日曜日午前9時30分～午後5時  
※月曜日(月曜日が祝日のときは翌日)と年末年始は休館。  
◇ところ 稲葉1-19 (近鉄若江岩田駅から徒歩約600m)  
◇料金 無料  
◇問合せ先 防災学習センター 072(966)9090、FAX 072(966)9090

## 大地震に備えて 我が家の防災チェック

いざというときのために、家族防災会議をしていますか？

はい・いいえ

家具などの転倒防止をしていますか？

家具や電化製品など、転倒の危険があるものは転倒防止の対策をしている

はい・いいえ

ガラスの飛散防止をしていますか？

食器棚やサイドボードなどのガラスが割れて飛び散らないように透明フィルムを貼るなどの対策をしている。また、ガラスが割れてしまったときにスリッパを用意している

はい・いいえ

物の落下防止をしていますか？

家具の上などにガラス製の装飾品や重い物を置かないなど、落下防止の対策をしている

はい・いいえ

吊り下げ照明器具を固定していますか？

照明器具の固定や蛍光灯の破損防止などの対策をしている

はい・いいえ

安全スペースを確保していますか？

小さい子どもやお年寄りの部屋には転倒の危険がある家具などは置かず、家族の安全スペースを確保している

はい・いいえ

避難通路を確保していますか？

家具などが倒れても、避難できる通路を確保している

はい・いいえ

非常持ち出し袋を準備していますか？

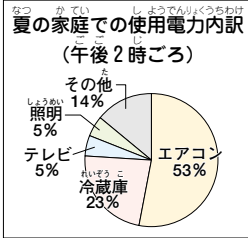
いざというときのために、すぐ持ち出せるよう非常持ち出し袋を準備している。また、持ち出し品の期限切れなども確認している。(例) 飲料水、携帯ラジオ、衣類、履物、食料品、マッチやライター、貴重品、懐中電灯、救急セット、筆記用具、雨具(防寒)、ティッシュペーパーなど

はい・いいえ

地域の防災訓練などに参加していますか？

家の人といっしょに地域の防災訓練に参加している

はい・いいえ



節電とは、電気の使い方を見直し、使用を減らすことです。

夏の日に家庭で使われる電気は、半分以上がエアコンによるものです(グラフ参照)。クーラから、エアコンと冷蔵庫を中心に節電をする大きな効果が出ることがわかります。また、節電することは、地球温



今日から  
やってみよう!



東日本大震災の発生により、今年の夏は電力不足が予想されます。電気を使いすぎて、電気を作れる量が追いつかなくなると停電が起きてしまいます。そうならないように、この夏は「節電」に取り組ましましょう。

## 家で取り組む節電 7か条

- | エアコン                      | 冷蔵庫                |
|---------------------------|--------------------|
| ①冷房の設定温度28度を心がける          | ⑤設定を「強」から「中」に変える   |
| ②「すだれ」や「よしず」で窓からの日差しを和らげる | ⑥扉を開ける時間をできるだけ短くする |
| ③無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使う  | ⑦食品をつめこまない         |
| ④フィルターをこまめ(2週間に1回程度)に掃除する |                    |

※グラフと表は資源エネルギー庁の資料をもとに作成。

ただし、エアコンの使用をがまんしすぎて熱中症にならないように、他の対策と上手に組み合わせる取り組みでください。

この夏は、家族と過ごす時間を大切にしましょう。

一番の節電は、家族と団らんをすることです。家族が1つの部屋に集まって過ごす、エアコンも照明も1部屋分ですみ、家族の絆も深まります。

電力の普及によって水車は姿を消してしまいましたが、辻子谷の水車の歴史を後世に伝えるようと、地元の人たちが7年前に

石切から生駒山に続く「辻子谷」は、明治から昭和時代にかけてたくさんの水車が動いていました。最盛期には44基の水車があったので「日本一の水車郷」といわれ、薬の粉末加工などさまざまな産業に利用されてきました。

## 後世に伝える 辻子谷の水車



山の水車を循環させて直径6mの水車を回し、水車小屋では水車が回転することで杵と臼がすれ合い、材料を粉末にする動きを見ることが出来ます。

「辻子谷水車郷広場」(上石切町2)へは、近鉄石切駅から南東へ約700m。石切駅から生駒山に向かう辻子谷ハイキングコース沿いにあり、水車は毎日見学できます。



水車から水が流れ落ちる音と、杵と臼がすれ合う音が響きわたっています



## 未来に残そう 『元気玉』できれいな川を

6月6日、長瀬北小学校の4年生(41人)が、長瀬川をきれいにする活動に取り組み、長瀬川をきれいにする活動を5年以上も続けているので、今では鯉が泳ぎ、鷺が飛んで来るまできれいな川になっているんだって。



この日、長瀬川の維持管理を

行っている土地改良区「築留」の人に教えてもらいながら、水生植物を水辺に植えたり写真上「川のごみ拾い」をしりました。



～長瀬北小の巻～

EMだんでは、酵母菌や乳酸菌などいろいろな細菌が入った液体を糠や土と混ぜてだんごの形にし、発酵させて作るんだ。大阪ではEMだんごのことを「元気玉」というんだって。

この日、みんなで作った「元気玉」は200個以上(写真中央)で、長瀬川がもつきれいな川になるよう祈りをこめて、川に投げ入れたよ(写真下)。



うと、ラケビルホールと形が似ているので「ラケビルのまち東大阪」がイメージでき、市内にハウス食品株式会社のカレー工場があったからです。



なせカレーパンかというと、ラケビルホールと形が似ているので「ラケビルのまち東大阪」がイメージでき、市内にハウス食品株式会社のカレー工場があったからです。

東大阪は「モノづくりのまち」「ラケビルのまち」として有名ですが、ご当地グルメでも有名なまちにしようと、市役所の若手職員の発案から今年1月に東大阪カレーパン会が発足しました。

東大阪カレーパン会では、カレーパンを食べた元気なまちをつくらんと活動しており、このほどカレーパンマップを発行しました(写真)。



ひがしおおさか とうち 東大阪ご当地グルメ  
カレーパンマップを発行

東大阪カレーパン会では、カレーパンを食べた元気なまちをつくらんと活動しており、このほどカレーパンマップを発行しました(写真)。